

愛知東邦大学 シラバス

開講年度(Year)	2024年度	開講期(Semester)	前期
授業科目名(Course name)	幼児理解の理論と方法		
担当者(Instructors)	堀 建治	配当年次(Dividend year)	3
単位数(Credits)	1	必修・選択(Required / selection)	選択

■ 授業の目的と概要 (Course purpose/outline)			
幼稚園における幼児の生活や遊びに即して、幼稚園教諭として必要とされる幼児理解に関する知識や考え方を学ぶことを目的とする。さらに事例を通じて観察法や記録の意義、集団と個とのかかわりについて理解する。様々な場面の映像や観察記録を議論することで、より深く幼児理解の知識を学ぶ。			

■ 授業形態・授業の方法 (Class form)	
授業形態(Class form)	講義
授業の方法(Class method)	本講義は事例検討を中心として、学生同士のディスカッションを含めて、保育専門職について相互に理解を深める。受講生の主体性や積極的な意欲を強く求める。

■ 各回のテーマとその内容 (Each theme and its contents)			
回数(Num)	テーマ(Theme)	内容(Contents)	メディア区分(Media)
第1回	オリエンテーション、幼児理解の意義	授業の進め方等の確認、幼児理解の意義や役割、基本的態度について理解する	<input type="checkbox"/>
第2回	幼児理解の視点	園における幼児の生活や遊びを通じて発達や学びの視点から幼児理解について理解を深める	<input type="checkbox"/>
第3回	保育における幼児理解と課題	保育者として個人と集団における観察法や記録の意義を事例から理解する。	<input type="checkbox"/>
第4回	環境と幼児理解	事例を通して、幼児の内面理解についてグループ協議を含めて、環境構成や具体的な幼児の姿を学ぶ	<input type="checkbox"/>
第5回	遊びと幼児理解	遊びの事例を通して、幼児の内面理解のあり方や環境構成など、具体的な幼児の姿を理解する。	<input type="checkbox"/>
第6回	生活と幼児理解	生活場面での事例を通して、幼児の内面理解のあり方や環境構成など、具体的な幼児の姿を理解する。	<input type="checkbox"/>
第7回	幼児理解と保護者との連携	保護者の心情を理解し、連携から対応の方法を習得し、よりよい幼児の育ちに繋がることを理解する	<input type="checkbox"/>
第8回	まとめと確認	8回まで学んだことを振り返りつつ、幼児理解の知識について確実に身に付けているかどうか確認する。	<input type="checkbox"/>
第9回			<input type="checkbox"/>
第10回			<input type="checkbox"/>
第11回			<input type="checkbox"/>
第12回			<input type="checkbox"/>

第13回			<input type="checkbox"/>
第14回			<input type="checkbox"/>
第15回			<input type="checkbox"/>

■授業時間外学習（予習・復習）の内容(Preparation/review details)

事前学習は、各回でのトピックを教科書を中心に読み込むとともに、不明確な点については文献、インターネット等で確認する（2時間程度）。事後学習はノートやプリント等で振り返りをしつつ、不足分について関連文献を読み込み、資料収集を行い、成果の定着を図る（2時間程度）。

■課題とフィードバックの方法(Assignments/feedback)

各種課題については授業時間内に適宜、返却する。授業時間外の場合はオフィスアワー、もしくは教員が研究室に在籍し、対応できる場合は随時対応する。

■授業の到達目標と評価基準(Course goals)

区分(Division)	DP区分(DP division)	内容(DP contents)
思考力・判断力・表現力	◆ 2019子ども発達DP2	<ul style="list-style-type: none"> ・ 幼児理解の知識を習得することで、考え方や基礎的態度を理解できる。 ・ 一人ひとりの幼児理解の方法を具体的に理解できる。 ・ 幼児のつまずきから他児との関係や個と集団のクラス運営に繋げる方法が理解できる。
主体性	◇ 2019子ども発達DP3	<ul style="list-style-type: none"> ・ 幼稚園における幼児の生活や遊びの実態を通して、幼児の発達していくか、理解できる。 ・ 幼児がどのように人との関わりを学び、自ら考える力を付けていくか、理解できる。 ・ 保護者の心情を理解し、連携から対応の方法を習得できる。

■成績評価(Evaluation method)

筆記試験(Written exam)	実技試験(Practical exam)	レポート試験(Report exam)	授業内試験 (in-class exam)	その他(Other)
			80%	20%

授業内試験等(具体的内容)(Specific contents)

- ・ 「授業内試験」:授業で扱った「幼児の理解」に対する知識の習得度をもとに評価する。(80%)
- ・ 「その他」:リフレクションシートをもとに評価する。(20%)

■テキスト(Textbooks)

No. (No.)	テキスト名など(Text name)	ISBN(ISBN)
1	幼稚園教育要領解説	978-4577814475
2	幼保連携型認定こども園教育・保育要領解説	978-4577814499
3		
4		
5		

■参考図書(references books)

No. (No.)	テキスト名など(Text name)	ISBN(ISBN)
1		
2		

3		
4		
5		